

教育史だより



第2号（平成25年11月12日更新）

「学校日誌」も重要な教育史資料です

教育史資料というと本になっている資料をイメージしがちですが、実は、「学校日誌」や「教務日誌」も戦後神奈川の学校の様子が見える重要な資料となります。

下の写真は、県立高校に保管されていた、戦後間もない時期の「学校日誌」「教務日誌」です。写真1は、昭和20年の「学校日誌」と昭和23年の「教務日誌」です。写真2の「教務日誌」右側のページには、GHQより2名の進駐軍が来校したという記録があります。上部に貼付されたメモには、朱書きの署名と「GHQ」の文字を読み取ることができます。その他に、神奈川軍政部の教育課長マックマナス氏の講演の聴講、男女共学や週五日制に関する調査の実施などの様々な記録があります。マックマナス氏については、「教育史だより」第3号で特集予定です。

他にも、運動会のプログラムや文化祭のポスターなども教育史資料となります。このように、戦後神奈川の教育に関する資料の情報がありましたら、総合教育センター学校教育支援課学校支援班までお寄せください。

写真1 教務日誌と学校日誌



写真2 教務日誌（昭和23年）



問合せ先

神奈川県立総合教育センター
学校教育支援課 学校支援班

(0466)81-1659